京都労山

2024年2月号
No. 368
発行日
2024年1月15日

発行所:京都府勤労者山岳連盟 発行者:田原 裕 編集製作:機関誌委員会 発行:毎月第3月曜日
所在地:〒.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793
【ホームページアドレス】 http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan
【E メールアドレス】Ｋｙｏｔｏ－ｗａｆ＠ｄａｂ .ｈｉ－ｈｏ.ｎｅ.ｊｐ

京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

（一）　私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
（二）　私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
（三）　私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
（四）　私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
（五）　私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
（六）　私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。

２月号目次

＊　六つの合い言葉・目次
＊　ステップアップ・・・「第５９期定期総会を迎えて」・坪山理事長・・・０１
＊　事務局長会議報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０２
＊　新しい救助隊の立てあげに際し救助隊員への登録を呼びかけます・・・０３
＊　京都労山　新救助隊　登録用紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０４
＊　大文字山登山道整備の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０５
＊　第 58 期ヒヤリハット報告会の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・０６
＊　ヒヤリハット事故報告書フォーマット・・・・・・・・・・・・・・・・０７
＊　青年委員会　北ア　乗鞍連峰　十石山　雪山山行案内・・・・・・・・・０８
＊　第４３回　近畿ブロック搬出技術講習会のご案内・・・・・・・・・・・０９
＊　代表者会議の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
＊　２０２３年度　組織状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
＊　冬山連絡会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
＊　近畿ブロック　自然保護委員会（WEB）報告・・・・・・・・・・・・・１６
＊　クライミング委員会　宝塚・武庫川の岩場・・・・・・・・・・・・・・１７
＊　救助隊　捜索訓練報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
＊　連載企画・日本二百名山登頂シリーズ第 30 回 145　大岳山・・・・・・１９
＊　連載企画・日本二百名山登頂シリーズ第 31 回 146　三ツ峠山・・・・・２０
＊　２月号の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
＊　連盟月間予定表「カレンダー」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

ステップアップ

京都労 山第 59 回定期総会を迎えて

新しく迎えた年明け早々、大きな災害と事故が発生しました。いずれも、日頃の備えにより、有事への対応が結果を左右したと思います。また、備えがあってもそれをも上回る自然の力になす術もなかった方も、たくさん居られたかと思います。被災された方々へお見舞いを申し上げます。私たち登山者も、安全登山を実施するうえで必要な装備、的確な判断、ヒューマンエラーをなくすパーティシップ・メンバーシップを確実なものとして、望んでいきたいと思います。年頭に当たり、決意を新たにしたいと思います。

昨年、京都労山では大きな出来事が二つありました。一つは、8 年間減り続けていた会員数が増勢に転じたことです。コロナウィルス禍も、第五類指定への移行により、日常生活を取り戻したフィールドには、登山者が以前にも増して訪れるようにっなっています。そんな登山者に対し、試され済みの登山教室や、SNS など新しいツールを駆使して、積極的に働きかけた事が、仲間を広めることに繋がったと思います。この教訓を総会の場で広めるとともに、各会にて蓄積されていた、会員定着への取り組みを共通のものとしていきたいと思います。

もう一つは救助隊の解散です。解散を受けて、再構築検討委員会を立ち上げ、どうすれば持続可能な救助隊を再結成出来るか検討を進めた結果、遭難をなくすための組織として遭難対策部を独立させ、その目的の下に救助隊を組織することを、今総会で提案したいと思います。消防等によるヘリ救助が普及している中、救助隊の出動機会は減ってきています。それでも救助隊には、遭難時の対応力を登山者に広めていくという、大きな任務があります。ヘリ救助が中心になっているとはいえ、飛行できない場合や時間がかかる場合もあります。それを待つ間、残されたメンバーは、ただ手をこまねいているだけで良いのでしょうか。少しでもけが人の痛みを和らげる処置をする。少しでも安全な場所に移動させる。そんな、誰でもが少しの知識と装備と人手があれば出来るレスキュー術をいろんな訓練の場で広めていきたいと考えています。それを学んで広めていくメンバーとして、救助隊員を募集します。当然出動の機会もありますが、それに参加するのは現場に見合った力量の有る者に限定します。これから再結成する救助隊です。総会の場でみなさんの声を頂いて、活動に活かしていきたいと思います。

2026 年 8 月に、京都労山は 60 周年を迎えます。人間で言うと還暦を迎えることになります。この節目を祝う記念行事の準備を始めていきたいと思います。記念山行や記念集会。記念ルート整備。記念誌発行など、いろんな取り組みが考えられます。単にお祝い行事として終わらせるのではなく、労山らしく会員の要求に沿った活動の到達点を示すものとして残したいと思います。自然保護や山行中での事故の多発など、課題山積の総会ですが、会での論議を経て総会の場で活発な論議を行い、新しい体制のスタートにつなげたいと考えます。各会での論議をお願いします。

坪山　芳樹

事務局長会議報告　（各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催）

１月度会議：日程都合憑かず報告のみとする　報告８労山

・報告は、洛中,西山,伏見,左京,やましな,乙訓,右京,明峯

各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

・[右京]＜例会＞12/10 愛宕山駅舎跡散策・水尾ゆず風呂と鳥鍋 15 名,17 終い山行地蔵山～愛宕山 22 名（内一般３名）＜予定＞1/21 綿向山＜その他＞集い応急手当

・[やましな]＜例会＞12/9 蛇谷ヶ峰・納山祭（いろり庵泊）17+２名,24 樒原～水尾（鶏鍋と柚子風呂）14 人＜予定＞１/５～17 ニュージーランド,10 ハイクで俳句大吉山と宇治散策,27 蛇谷ヶ峯(雪遊びを楽しもう)（朽木てんくう温泉）

・[西山]＜例会＞12/4 古都まち歩き、御土居巡り 17 人,9 ペース登山（愛宕山）5 人,10 初歩の岩山歩き（和気アルプス）12 人＜予定＞1/20 奥島山～長命寺、23～24 入笠山（スノーシュー）＜その他＞２月 11 日今期第１回の山行計画会議

・[左京]＜例会＞12/3 奈良山野辺の道９人+１,24 比叡山～坂本 8 人+打ち上げ 9 人＜予定＞１/７新春恒例大文字山（善哉）＜その他＞12/20 今年の山を振り返り

・[乙訓]＜例会＞12/9～10 納山祭龍の小屋（会行事）２６人（泊 11)、13 飯道山 13 人＜予定＞1/4 初詣愛宕山,16 と 21 日読図入門教室沓掛山・烏ヶ岳

・[洛中]＜例会＞12/12 終い山行大文字山 10 人,16～17 納山祭龍の小屋 17 人＜予定＞１/11～13 北信州(野沢温泉スキー),14 山科(音羽山～高塚山)新入会員歓迎

・[伏見]＜例会＞12/3 納山祭・望年会 28 人,24 終い大文字北斜面 13 人＜予定＞1/14 堂満岳,21 奈良竜王山＜その他＞新入会員入会続く - HP から、大文字山で声掛け

・[明峯]＜例会＞12/17 終い山行愛宕山境内で豚汁 22 人,＜予定＞1/12 新年会「御池酔心」,14 中級雪山堂満岳東稜＜その他＞つどい「ロープワーク基本の結び方」

連盟の取り組み、活動報告　（連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告）

・１月２８日（日）積雪期搬出訓練イン谷で実施・積雪期における遭難者捜索救助搬送技術の向上。負傷者の梱包引き降ろし搬出方法を学ぶ。ビーコン・ブローブ探索方法。
　Am9;00 よりイン谷上部講演（トイレ前）広場で受付開始。9;30 より訓練開始。

・３月３日(日)第５９期定期総会開催。京都アスニー第８研修室（３F)
　開場ｐｍ１；00、開会ｐｍ１；30。２月上旬頃から議案書他を各会に送付。

・「ヒヤリハット・事故」報告交流会の案内。教育遭難対策委員会担当。
　２月２日（金）19;30～21;00。京都連盟事務所。参加申し込み期限１月 30 日

・年末に、新救助隊員の登録依頼のメールを各会宛てと旧救助隊隊員へ送っています。
　登録用紙の QR コードから入力できるもので、有効なメールアドレスの取得のため隊員みずから入力してください。

次回の事務局長会議は２月６日（火）pm７時半より、WEB 専用会議とします。

―京都労山加盟各会・クラブ所属のみなさんへ―

新しい救助隊の立ち上げに際し、救助隊員への登録を呼び掛けます！！

1995 年より活動してきた京都連盟の救助隊が、事務局の高齢化と世代交代が立ちゆかなくなったことから、本年 9 月に解散を決議して承認されました。常任理事会では、救助隊の果たす役割を考慮し新しい形での救助隊再結成に向けて準備を進めています。59 期定期総会での議決を経て正式な活動開始となります。

救助隊員の役割は、有事の際に現場まで救出に出向くことだけではありません。救助隊員や関係者などを現地まで運ぶ自動車の運転や現地本部での活動など、後方での支援の場もあります。とはいうものの、実際に出動する機会はエアレスキューが普及してきた現在、あまりありません。そこで、コンパニオンレスキューに重点を置いています。

コンパニオンレスキューとは、事故発生時に居合わせた人が、持ちうる装備と知見を生かして、警察・消防など、組織レスキューに引き継ぐまでのレスキュー行為を言います。このコンパニオンとなったメンバーの技量の総和が高いほど、質の高いレスキューが実現し、要救助者の負荷を和らげ、ひいては社会復帰を早めることにも繋がります。

ヘリコプターが到着するまでの１～２時間。ただ、手をこまねいていて良いのでしょうか。3～4 時間かかるかもしれません。レスキューのスキルを身につけましょう。

救助隊準備会では、労山会員すべてに基本的なレスキュー技術を普及することを目指しています。その普及を担うのは、一人一人の救助隊員であると考えています。是非、あなたのお力をお貸しください。登録をお待ちしています。

京都府勤労者山岳連盟理事長
救助隊再構築準備会代表
坪山　芳樹

京都労山新救助隊登録用紙

遭難者から「助けてほしい」と救助要請があった時、遭難者の家族の方から「うちの者を助けてほしい」と依頼された時などに、困っている人を助けてあげたい、助けるお手伝いをしてあげたいと言う思いのある方は登録してください。

ＷＥＢフォームへの登録にご協力ください。右上のＱＲコードをスマホで読み込んでご入力いただけます。

氏　名		所属山岳会	
生年月日	年　月　日　　歳		
住　所	〒		
電話番号		携帯番号	
ＦＡＸ番号		無線ｺｰﾙｻｲﾝ	
携帯メールアドレス			
ＰＣメールアドレス			
緊急連絡先	氏名　　続柄　　携帯番号		

★遭難事故が発生し救助要請があった場合は、常任理事、新救助隊、遭難対策部、当該山岳会、その他必要と認められる人員、遭難者関係者によって遭難対策本部が設置されます。

★新救助隊は遭難対策本部の指揮下で、登録されている皆さんの意見をお聞きして役割分担を決めます。決して、無理な捜索救助のお願いは致しません。

★新救助隊は山に入って遭難者の捜索救助活動をするだけではなく、京都の事務所や現地で事務的なお手伝いをしていただくのも大事な新救助隊の仕事です。

★自分が出来る範囲、自分の判断でご協力をお願いします。

下記のアンケートにお答え下さい。（該当に〇印を入れて下さい）

遭難事故が発生して捜索救助依頼があった場合

	京都の事務所や現地で事務的なお手伝いはできる。
	遭難場所や季節によっては捜索や救助に行ける。
	遭難場所や季節を問わず捜索や救助に行ける。

★登録していただいた個人情報は新救助隊活動以外には使用しません。個人情報は厳重に管理いたします。

★携帯アドレスは「新救助隊緊急招集一斉メール kr_kyujotai@yahoo.co.jp」に登録して緊急時の連絡に活用しますのでご了承ください。（この一斉メールは携帯メールに送信されますので受信可能の設定を行って下さい）

★新救助隊活動は全て自己責任での活動であることもご了承下さい。

2023 年 12 月 28 日

京都府連盟登山道倒木整備 ―大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

今年も飽きもせず安祥寺上寺跡左俣登山道の整備を行います。左俣も後、1/3 程、6 月頃にはで完了するかと思います。左俣が終わったら右俣の整備が待っています。倒木整備は楽しいです。是非、一度、参加してみて下さい。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得ています。

みんなで頑張って楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

雨天時等は安全のために整備を中止します。

★実施日： 2 月 3 日（土）2 月 4 日（日）3 月 9 日（土）3 月 10 日（日）
雨天予想の場合は前日の 19 時までに判断して中止のみ連絡します。

★申し込み締め切り：実施日前の月曜日

★集合場所：JR 山科駅改札口付近　9 時 00 分（9 時には出発します）

★参加申込先：連盟登山道整備担当　青山郁夫
080-3797-4392　携帯メール　2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp
個々か会でまとめて申し込んで下さい。留守宅（緊急連絡先）も教えて下さい。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カッパ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）、お茶、お弁当、救急薬品　ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸しします）、長靴（任意）、スパッツ、虫除けスプレー等

★共同装備：ロープ、ビニール紐、カラビナ、サムスプリント

★その他

- 作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
- 木が 1/3 切れたら声を掛けること。1/3 でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！
- 木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか常に予想して退避方法を考えておくこと。
- まだまだコロナには注意が必要です。本人や同居家族で微熱、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来に行って下さい。

「ヒヤリハット・事故」報告 交流会　案内

京都府勤労者山岳連盟・教育遭難対策委員会

2022 年度（令和４年度）における山岳遭難の概況について 、過去最多の遭難件数 3,015 件。令和 4 年度の山岳遭難者数は、前年より 431 人多い 3,506 人で、統計が残されている 1961 年以降で最多となったことが警察庁のまとめで分かりました。過去 30 年間の推移を見ると、2019 年～2021 年は若干減少したものの、全体的に右肩上がりで増加の一途を辿っています。

この様な「事故」及び事故に繋がりかねない「ヒヤリハット」の経験は各会におきましても少なからず有るのではないでしょうか。事故やヒヤリハットから教訓を学び事故防止に活かすことは非常に重要であると思います。そこで、各会に於ける「事故」及び「ヒヤリハット」の事例を報告いただき、得られた教訓を共有することで、事故の未然防止に役立てたいと思います。

以下の日程・要綱で交流会を開催しますので、事例の提出と交流会への参加をお願いします。

記

・日時：２０２４年２月２日（金）１９時半～２１時
・場所：連盟事務所
・報告資料：報告フォーマットに記入の上、メールで下記まで送信してください。各会最大２件でお願いします。
　　フォーマットはホームページよりダウンロードしてください。
・提出先　：教育遭対　山下建男　**yamasansan326@gmail.com**
・原稿提出締め切り：２０２４年１月２０日（水）
・参加申し込み期限：２０２４年１月３０日（水）

「ヒヤリハット・事故」事例報告書

（ＭＳゴシック、１１Ｐで記入ください。B5、スペース:上左右 20㎜、下 23㎜）

山岳会名（　　）　　提出者（　　）

事例者年齢（　　）　　性別（　　）　山歴年数（　　）

事例日時（　　年　　月　日　　時頃）　　天候（　　）

【事例の概要】（　　）＜ヒヤリハット又は事故と記入＞

【事例の原因及び反省】

【教　訓】（今後の具体的な行動内容）

〔青年委員会企画〕

北アルプス乗鞍連峰 十石山 雪山山行案内

北アルプス乗鞍連峰にある十石山に行きます。穂高の山々や乗鞍主峰の好展望台で、積雪期に人気の山です。

日　　程　２０２４年３月２４日（日）　悪天中止
集合場所・時間　　白骨温泉観光案内所横Ｐ　２４日　６時
　　または、JR 米原駅東口　２３日　１９時

行 き 先　　乗鞍連峰　十石山（2,524m）
行　　程　　２４日　白骨温泉登山口～十石山～白骨温泉登山口
　　（無雪期コースタイム６時間４０分）

目　　的　・雪山体験とアイゼン、ピッケルワークの習熟
　　・青年会員の交流

個人装備　　アイゼン（１０本爪以上）、ピッケル、ワカン、スパッツ、手袋、オーバー手袋、カッパ、防寒具、冬山用衣類、食料等積雪期一般装備。

参加対象　　６０歳未満の労山会員

その他　　・装備等詳細は参加者に連絡します。
　　・米原駅集合の場合、車乗り合わせで行き、途中で仮眠します。
　　仮眠用シュラフ、マットをご持参ください（定員有）。
　　・京都発着で車を出していただける方はご連絡ください。

参加費　　車乗り合わせの場合、交通費は参加者で人数割します。

申　込　　３月１１日（月）までに、川端純子（丹後山の会）宛にメール（asytjjun@yahoo.co.jp）、または個人ラインで申込んでください。
　　お名前、所属会、携帯番号、緊急連絡先、集合場所をお知らせください。

第４３回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

初級コンパニオンレスキュー班【事前申し込み制】京都滋賀合同で実施

●日時　　2024年４月6日（土）８：30 受付開始　９：00～15：00　雨天決行
●受付実施場所　　大文字山安祥寺林道入り口（JR 山科駅から徒歩 30 分　地図参照）
●持ち物　山行時の装備一式、及び、ヘルメット、緊急時に備えて常々携行しているスリング、カラビナ、細引き（ヘルメットを除き無い装備はお貸しします）
●内容　　細引きの結び方、簡易ハーネスの作り方、カラビナスルー、事故者の所まで行くために細引きで丸結びを使った斜面の降り方登り方の技術習得
●対象者　ハイキングの山行リーダー等の方で学んだスキュー技術を会の中で伝達する意欲のある方。ハイキング等のリーダーの立場ではないが、これからレスキュー技術を学び有事の際にはメンバーの一人として力を発揮しようとする意欲のある方。
受講者最大 60 名で各府県連 10 名を限度とします。（10 名に満たない府県連があれば 60 名以内で 10 名以上の府県連があっても良いです）
●参加費　１000 円
●前夜テント泊は不可です。講習会実施場所付近は駐車不能です。山科駅周辺のビジネスホテル、コインパーキングをご利用下さい。
●今回使用する講習会テキストは現地でお渡しします。

岩搬出、岩のセルフレスキューコース【事前申し込み制】

●日時　2024年４月7日（日）8:00 受付開始　８：30 ～ 15：00　雨天中止
●場所　百丈岩やぐらおよび百丈岩周辺（JR 道場駅より徒歩約 30 分）
●内容　岩場でのセルフレスキュー、コンパニオンレスキューの実践を学ぶ。
●コース　いずれのコースも事前受付となります。
・岩班（初級者コース）　募集人員　６名
・岩セルフレスキュー班　募集人員　３名
・岩班（経験者コース）　募集人員　10 名
・尾根班　　募集人員　10 名
●装備　・ヘルメット*、ハーネス*、自己確保用装備*、確保器*、安全環付カラビナ*、デイジーチェーン又はパス*、カラビナ*、クイックドロー*、スリング*、アブミ、ハンマー等
＊は必須装備です　上記の他、各コースとも一般装備（行動食、水筒、雨具等）必要。
●対象者
・岩登り山行リーダー等の方で学んだレスキュー技術を会の中で伝達する意欲のある方
・「岩セルフレスキュー班」は搬出技術講習会の参加経験者で主に岩登りをされる方が対象です。
●参加費　1000 円
●前回のテキストをお持ちの方は持参してください。当日、必要な方は 500 円で販売します。
●前夜泊は鎌倉峡河原にてテント泊可能です。（場所に限りがあります）
●お車でお越しの方へ、当日はたくさんの参加者が予想されます。出来るだけ公共交通機関をご利用下さい。車の場合は、道場駅前の駐車場もしくは鎌倉茶屋管理の奥の駐車場（いずれも有料）をご利用下さい。道場駅からやぐら前まで路肩は駐車禁止とします。百丈岩やぐら前は講習会場として使用しますので駐車できません。夜間遅くに来られる方は、近隣住民の方へのご配慮をお願いします。

ハイキング班【事前申し込み制】（奈良が主体で実施）

●日時　2924年４月６日2024年４月６日（土）　9:300受付開始　10:00～15：30
定員６０名

●受付実施場所　集合場所未定（奈良県大和郡山市内屋内）　場所は決定後に参加者の所属会あてに連絡　　屋内施設の予約が取れない場合は屋外で実施。屋外の場合は雨天中止

●内容　応急手当、ハイキングの搬出技術

●装備　大きめのザック、ストック、三角巾、テーピングテープ、スリング（長短１～２本）、カラビナ１～２枚　（ヘルメット必要なし。スリング、カラビナは、ある方だけ持って来て下さい）

●対象者　ハイキングのリーダーとして、学んだ技術を会の中で伝達する意欲のある方

●参加費　1000円

各コース共通事項

●参加条件：労山基金、又は、それに準じる山岳保険加入者

●雨天の場合は各コース要綱をご確認下さい。前日の夜の21時時点で警報発令時は中止します。

●講習中の事故等に対しては自己責任でお願いいたします。

●はキング班を除き各コースともヘルメットのない方は参加できません。

申し込み方法

申し込み締切日：３月３日（日）先着順で募集人数に達した場合は締め切りさせていただきます。
参加ご希望の方は所属会に申し込んで下さい。**会は参加者を集約して集約申込書を下記ﾒﾙｱﾄﾞに送って下さい。**
なお、参加ご希望の方は個人ごとに**事前申込書を下記メルアドに送って下さい。**
★集約申込書と事前申込書、又は応募フォーム（QRコード or URL）を別途、各会にお送りします

問合せ先・メール送信先
京都労山救助隊再構築準備会　青山郁夫　aa-ikuo1025@maia.eonet.ne.jp

初級コンパニオンレスキュー班 受付場所、講習会場所

受付、集会場所：安祥寺林道入り口
山科駅から歩いて30分

講習会場所

車で来られる場合は山科駅周辺のコインパーキングに停めて歩いて受け付け場所まで来て下さい。

講習会場所にトイレはありません。ナチュラルをご承知おき下さい。

改札口を出て東側のトンネル通路を通って駅の裏口に出て下さい

代表者会議（ＷＥＢ会議）内容の要旨　12 月 8 日　（19;30～21;20）

参加 14 労山（丹後,WAO,乙訓,山遊会,西山,山城,明峯,田辺,福知山,洛中,やましな,樹の根,右京,伏見）

丹後山の会	川端純子	WAO亀岡	菊沢政夫	乙訓山の会	近藤直人	らくなん山の会	奥西一博
舞鶴労山	欠席	左京労山	欠席	西山HC	馬場重明	やましろ山の会	小倉幹夫
舞鶴山遊会	辻　信行	明峯労山	花折敬司	田辺山友会	藤村敏幸	チームクラマグチ	栗原研一
福知山山の会	金山誠教	洛中労山	山本辰夫	やましな山の会	青山大地	木の根17組	平田和子
丹波労山	欠席	右京労山	山下建夫	伏見山の会	吉田　正	ランタン	高岩　光
連盟事務局長	西村悦治	連盟理事長	坪山芳樹	連盟副理事長	大江六夫	連盟副理事長	平尾繁和
連盟常任理事	青山郁夫						

欠席 6 労山（らくなん,舞鶴,左京,クラマグチ,丹波,Lantan）

＜進行内容＞

坪山がレジメ１から６にそって話を始める。

救助隊解散し新組織発足の経緯と、常任理事会の下に新しく遭対部を発足させ、新救助隊を組織することと、旧来の教育遭難対策委員会の仕事を整理して、新しい遭対部がヒハリハツト、重大事故研究、冬山連絡会等を担当し、教育委員会が教育活動に専念できる体制をつくる。あくまで、遭対部と教育委員会が京都連盟の二枚看板として、安全登山思想を徹底させ、遭難事故のない京都労山を目指すものとする。その中で各会の理解と合意の上で、遭対部員１名の派遣と教育委員会への要員の派遣を要請した。

＜各会からの発言要旨＞

今年 8 月 30 日からの第２回理事会からは進展し、発言の要旨はよくわかった、協力したいという労山が増えたが、やはり現状山の会の運営で精一杯で、これ以上の協力は難しいという労山もあった。

＜具体的・特徴的な発言＞

（洛中）

今回の趣旨はよくわかった。いままで運営委員会での議論がなく派遣した人任せになっていた。この際、協力させていただく。

（福知山）

趣旨はわかった。全体で３２名しかいない。常時活動しているのは半数、役員

を決めるだけで精一杯。遭対部・教育委員会各１名難しい。北部の会がどういう形で入るのかわからない。
（伏見）
なんとかしようと思う。今まで救助隊に若い人が入らなかったのは何故か？それは専門家集団で、私達には関係ないとしていた。今年の無雪期搬出訓練はよかった。一般人でも参加できる内容であった。その後伏見では、参加者が中心になって搬出訓練を行った。そういう関係ができる救助隊にしてほしい。身近に感じられる組織にするとしたら「安全登山部」という名称もよい。
（丹後）
趣旨はわかるが福知山と同じで派遣はむつかしい。遠い都の話の気がする。
（山遊会）
全員で３５人。京都連盟と人繋がりがない、遠い。そこへ行って学習するとか、まして派遣は非常に難しい。
（西山）
高齢化が進んでおり、ここ数年は若い新入会員を組織しようとしている。新人といっても５０代、６０台が中心。平均は７０歳を超えている。運営委員をどうするのか、三役、四役はどうするのか。自分のところで精一杯、よそに手をのばす力はない。皆さんのお知恵を借りたい。
(明峯)
遭対部、教育委員会に各会から１名ずつ出すのは難しい。
救助隊に登録してくれと言えば遭対部事務局に人を送れる。旧救助隊事務局の解散はよかったが、救助隊本体まで解散すべきではなかった。
（田辺）
５０台は仕事が忙しく、世の中が変わって６５歳まで」は働く。昔のようにはいかない。
（WAO）
４０人切ったり戻ったりしている。研修会より山に行ったらよいという人が多い。安全登山思想を広めていきたい。大文字山での無雪期搬出訓練、プラスの経験、これをする遭対部であってほしい。力がかせるようにしたい。
（山城）
高齢化、全員が６０歳以上。各会からのヒヤリハットの報告は必要。派遣、呼びかけてみる。
（右京）
右京として人は送りたい。遭対部は事務局マネージメントをやる部署になる。

搬出訓練等は実際救助隊がやる。

（やましな）
誰か一人出さなあかんが、手を挙げてくれる人がいない。

＜坪山理事長の回答、まとめ＞
・北部の人を含めて基本リモートで集まれる工夫をする。
・遭対部員=救助隊員ではない
・各会からリアルな情報を集めるヒヤリハットの収集・分析を担当すれば、当然安全登山に繋がる。このような仕事をやってもらえれば、力をつけることが出来る。今のメンバーの力量を固定的に見ないで欲しい。
・会との繋がりをもったしっかりした専門部を作りたい。
・救助隊再募集だけでなく、救助隊解散により新しい受け皿を作る。
・各会と救助隊との間で距離が出てきた。各会がら救助隊を支えていく事が必要。その為に無理をお願いして代表者会議を開いた。
・役割はいろんなかかわり方がある、救助の現場に行く必要はない。
・WEB 会議参加、ヒヤリハット報告まとめ等、北部の人でも出来ることをやってもらう。
・京都連盟の仕事について、全部の会からの支え、理解があってこそ、よりよい組織となる。

京都府勤労者山岳連盟加盟団体組織率（2023年11月末）

年度	2020年			2021年			2022年			2023年		
	会員数	男性	女性	会員数	男性	女性	会員数	男性	女性	会員数	男性	女性
乙訓山の会	77	43	34	77	41	36	72	39	33	98	45	53
右京勤労者山岳会	69	26	43	69	28	41	60	26	34	57	24	33
左京勤労者山岳会	28	19	9	28	19	9	26	17	9	24	15	9
明峯勤労者山岳会	60	25	35	58	24	34	54	23	31	59	27	32
洛中勤労者山岳会	96	47	49	93	46	47	93	47	46	94	44	50
WAD亀岡	42	19	23	39	17	22	41	19	22	39	18	21
チーム・クラマグチ	3	3	0	3	3	0	3	3	0	2	2	0
伏見山の会	49	22	27	51	21	30	44	18	26	50	21	29
丹波勤労者山岳会	17	11	6	16	10	6	16	8	8	15	8	7
西山ハイキングクラブ	135	39	96	129	37	92	130	39	91	132	41	91
福知山山の会	41	21	20	35	17	18	34	16	18	32	16	16
舞鶴勤労者山岳会	22	9	13	22	8	14	15	6	9	15	6	9
ハイキングクラブ舞鶴山遊会	28	11	17	34	15	19	36	17	19	36	18	18
田辺山友会	33	13	20	37	13	24	41	16	25	40	17	23
やましな山の会	99	50	49	95	46	49	88	44	44	86	41	45
山城・山の会	27	10	17	24	7	17	23	8	15	22	8	14
丹後山の会	36	15	21	40	14	26	59	18	41	48	16	32
らくなん山の会	58	24	34	57	25	32	59	25	34	55	21	34
樹の根17組	10	0	10	11	0	11	13	0	13	13	0	13
Lamtan	8	3	5	9	4	5	7	3	4	5	2	3
計	938	410	528	927	395	532	914	392	522	922	390	532

2023 年度冬山連絡会報告

１２月１５日（金）19：30 より、花園連盟事務所にて冬山連絡会を開催しました。
当日の参加は、明峯２名、らくなん１名、左京１名、右京１名の合計６名でした。（内３名は教育遭対委員）
提出された計画書は以下の通りです。

〇左京労山　　霞沢岳西尾根（霞沢岳西尾根幕営～霞沢岳～徳本峠）
〇洛中労山　　八ヶ岳（赤岳～横岳～硫黄岳冬期縦走）
　　銀杏峰～部子山（雪洞泊）
〇伏見山の会　　木曽駒ヶ岳（千畳敷～木曽駒ヶ岳ピストン）

コロナ沈静化の中、久方ぶりに連盟事務所で対面形式にて連絡会を開催しました。
３労山４計画が提出されましたが当日は１労山の参加のみで冬山山行計画について十分な意見交換出来ませんでした。しかし、連絡会冒頭に明峯労山・花折さんより「冬山に登ろう」と題して花折さんの豊富な経験に基づいたお話と山行スライドを紹介いただき、冬山山行への刺激をいただきました。
連絡会の目的である「山行前・山行中の天候の気配り、雪崩などのリスクマネージメント」などについて話し合う所でしたが対面形式での集まりを十分に周知できなかったことで参加者が限定され冬山山行についての討議が十分出来なかった事をお詫びいたします。
今年も冬山山行計画が３労山・４計画しか集まりませんでした。
京都労山活性化の為にも冬山・春山連絡会への会員の皆様方の参加をお待ち申し上げます。

教育遭対委員会　山下建男

近畿ブロック自然保護委員会（ＷＥＢ）報告　　2023.12.22（金）19：00～20：00

出席：大阪（澤村）、滋賀（田中）、兵庫（中原、須増）、京都（平尾）

＜各府県の取り組み・交流＞

〇滋賀

・11 月　放射線測定を行った。赤坂山で 8 カ所（2 年前～、それ以前は県内 3、4 カ所で）他に比良雪稜会が毎年放射線測定（原発事故～）と水質検査（4、50 年前～）を実施

・風力発電問題でパネル展（11/23～25）大津市和邇　約 70 人
風力発電計画は現在 3 ヶ所、いずれも未着工。①美浜・新庄、②余呉・南越前（滋賀 20 基、南越前 19 基）ＧＰＩ（アメリカ資本 40%）をＪＴが買収、計画地には、かつてスキー場があったが工事がずさんで土砂が流出、高時川へ流れ込み濁水、アユに影響、県が「対策をしないと中止を」と意見を上げている③三十三間山、2022 年に開始で意見募集
美浜・新庄では、林業支援の名目で計画地へ林道が建設された。（林業はやっていない）風況などの調査費用に国から補助がでる？

〇兵庫

・3 本柱の活動、①クリーンハイク「兵庫の森からゴミをなくそう」年 6 回統一デーを設けて取組、②「労山の森」づくり、六甲山のグリーンベルト化、ボランティアで 20 年間整備に協力、③水質検査

・メンバーの高齢化、若返りが課題

・京都府連の北陸新幹線延伸問題へも協力できる取り組みをしている（11/23 パレード、全会へチラシを回し参加呼びかけ、委員が参加予定をしていたが体調不良で不参加）

〇京都

・北陸新幹線延伸問題パレードのとりくみ

・八丁平視察

・丹後半島大型風力発電計画

〇大阪

・自然保護憲章の実践（7 項目）内らいちょう目撃情報レポート、倒木対策、定点写真観察活動を毎月報告

・委員の交流を兼ねた自然保護観察会　11/23　和泉葛城山　14 名＋講師　田中正視氏（大阪府自然環境保全指導員）

＜近畿ブロックのとりくみ＞

・友ヶ島はフェリーの運航が安定している時季に実施するか、他の場所に変更してはどうか

・自然保護観察会のようなとりくみを近畿ブロックで計画してはどうか、若い人に参加してもらい組織の若返りに資することができるのでぜひ計画を　各府県の豊かな自然の残っている所を見て行きたい　若い人で植物や樹木に関心を持っている人が会にもいる

＜次回＞

2 月 20 日（金）19 時～

クライミング委員会山行 報告

クライミング ≪宝塚・武庫川の岩場≫ 記：内野

[新岩]

日：11月19日(日) 晴れ

メンバー：杉島(Lantan)、内野(洛中)、青山大(やましな)

本来なら広島の帝釈峡でガッツリ登る予定でしたが、天気が良くなく中止。宝塚にある初めての岩場へ日帰りで行きました。

大抵の岩場へのアプローチは、行きは登りなのですが、ここは激下りがあります。なので帰りに激登りがあります。核心です。

エリアは 6 つ程あり、ルート数もありますが、メインの広場はルートとルートの間がかなり狭い感じでした。岩を繋げてマルチピッチを楽しめるルートもあります。

思ってた以上に暖かい日で、汗をかきつつ各自登りたいルートにチャレンジしました。

[東高座岩]

日：12月10日(日) 晴れ

メンバー：杉島(Lantan)、内野(洛中)、青山大(やましな)、岩根(左京)、林(らくなん)

前回行った岩場の近くにある岩場です。同じアプローチの分岐で左に行きます。V 字谷の頂上付近にあるので高度感が楽しめます。

前回の岩場はクライマーがどんどこ来られてましたが、ここでは2人組の2組にお会いしたのみでした。

5.1 や 5.6 のリード練習ができるルートから 5.12 まであり色々楽しめました。

2023年　遭難捜索救助訓練のまとめ

1月11日　第6回救助隊再構築準備会

1　まとめ

今回、遭難者から遭難地点の緯度経度の連絡をうけ、事前に地図で位置を確認しココヘリも使い捜索を行った。

・遭難者は、最終よびかけと視認で発見され、ココヘリ利用でそれほど大きな優位さはなかった。現場で地図を見る人を決めておくことが必要

・アプリ（ジオグラフィカ、地図ロイド、スーパー地形等）で緯度経度から遭難地点を探す方法を身に付けることと、他の会員にもこの方法を身につけられるよう周知することが必要

2　反省点と今後にむけて

(1) 連絡：一報が入ってすぐに常任理事・救助隊再構築準備委員へ連絡をしたが、旧救助隊員への連絡が少し（約30分後）遅くなった

(2) 装備：必要なものの持参を忘れた

ネット搬送用ストック、遭難者用のハーネス・ヘルメット、ロープは2本持参したが、もう1本持っていくべきだった

今後、持ち出しの責任者を明確にしておくことが必要

(3) 参加者が少なかった　25日6労山10名、26日7労山13名

当初日程（11/11・12）を、都合により変更したことも影響した可能性あり

今後、年度当初に日程を決め、その通り実施することが必要、次年度は20名の参加をめざしたい

(4) 今回、捜索に時間がかからず14時前に訓練を終わったが、時間があったのでもっと有効に訓練を行えばよかった。

・1/5システムは、操作者が限られていた。みんなで体験すればよかった。

・ネット搬送ももっと長時間の搬送を行えばよかった

・サムスプリント等を持参していたので、応急手当の訓練も行えばよかった

今後、訓練の機会に応急手当を知っている人から少しずつ行い経験の浅い人に確かな方法を身につけてもらうことが必要、無雪期搬出訓練で応急手当を各会持ち回りで担当することの再開や専門家を講師にして学ぶこと等遭対部で検討論議してもらう

№145　大岳山　1266m　　2008.3.19(水)～27(木)　北関東山行

3.24(月)御岳登山口滝本より山頂往復　単独山行

19(水)自宅～諏訪湖 SA(車中泊)
20(木)両神山～国民宿舎・両神荘泊
21(金)三峰登山口～雲取山を目指すが雪に阻まれ白岩小屋で引き返し両神荘泊
22(土)武甲山～館林の友人宅泊
23(日)筑波山～西荒井の友人宅泊

3/24(月)

05:28 起床。６時過ぎに出勤する友人と一緒に出る。週間予報通り雨。環状七号線～R254～R463 と進み、３時間半かけて御岳登山口滝本Ｐへ向かう。
08:58 御岳登山口滝本Ｐ着。駐車料 1000 円を払い、合羽を着て 09:22 発のケーブルに乗り 09:28 山頂駅着。
09:28 山頂駅発。小雨の中の山行は嫌だが仕方がない。大岳付近で熊目撃の情報看板。空が少し明るくなって来た。午後からは晴れるらしい。途中の御岳ＹＨで地図を貰う。旅館の立ち並ぶ中を縫う様な道を行く。
09:45 御岳神社階段下。流石に信仰の山らしく「〇〇講」の石碑が林立している。登山姿の女性が１人、雨と熊情報に登頂を諦めたのか下って行った。55～
10:05 御岳神社本殿。とても立派な造り。観光らしい男女２人とすれ違う。こんな日の山行では人に会うとホッとする。
10:16 奥ノ院分岐。東京都の水道施設がある。奥ノ院～鍋割山を通るコースがあるが雨で視界が利かないので諦め最短コースを行く。
10:33 岩石園分岐。休憩舎あり。道は幅 2m程もあり下を水道管が通っている様で所々にマンホールがある。
10:51 芥場峠。手前斜面に崩し乍ら登った直径 10cm 程の足跡。熊だろうか？
10:56 鍋割山からの奥ノ院分岐。雨はかなり激しくなる。ここから鎖のある狭い岩場の道。滑ると危ない。滑落注意の看板が多い。
11:15 大岳山荘分岐。すぐ下に大岳山荘があり、右上に大岳神社～大岳山への道。
11:17 大岳神社。山行の無事を祈り残雪が解けてドロドロの道を山頂へ向かう。
11:30 大岳山頂。富士山等の絶好の展望所だが残念ながら視界が利かずすぐ下山。
11:40 大岳神社～11:42 大岳山荘。閉館中。近くに公衆トイレ・展望所がある。
12:05 奥ノ院分岐。奥ノ院まで 50 分とある。来た道を戻ろうと思っていたが、雨が止み青空になって来たので眺望を期待して奥ノ院へ回る事にする。
12:15 鍋割山。ここまでは明るい雑木林の中の緩やかな尾根道。ここからはぐっと急な岩場の道になる。
12:25 奥ノ院山頂。小さな祠があり広場になっている。ここで昼食を摂り 33～下山。すぐ下に新しい社があった。下り道の脇にカタクリが生え、暫く行くと群生していた。御岳神社の近くには大群落もあるそうだ。
13:30 ケーブル山頂駅～13:36 滝本駅～13:41P 発～
15:40 大菩薩嶺近くの日本秘湯を守る会の名湯・裂石温泉・雲峰荘着。雨に濡れて冷えた体を巨岩を組み合わせた岩風呂に浸かって温める。少し料金は高いがその分食事も豪華だった。良い宿を見つけた。

この後大菩薩嶺・三つ峠山・御正体山・七面山等に登り帰宅。天候に恵まれず変更を重ねた山行だった。

№146　三ッ峠山　1785m　　2008.3.19(水)～27(木)　北関東山行

3.25(火)三ッ峠登山口より山頂往復　単独山行

19(水)自宅～諏訪湖SA(車中泊)
20(木)両神山～国民宿舎・両神荘泊
21(金)三峰登山口～雲取山を目指すが雪に阻まれ白岩小屋で引き返し両神荘泊
22(土)武甲山～館林の友人宅泊
23(日)筑波山～西荒井の友人宅泊
24(月)御岳～大岳～裂け石温泉・雲峰荘泊

3/25(火)

８時過ぎから大菩薩峠～大菩薩嶺に登る。うっすらと雪が積もりとても綺麗だった。林道は冬季閉鎖で車が入れずゲートから歩き、その分時間オーバーで御正体山は時間的に無理なので三ッ峠山に移動。御坂トンネルは閉鎖されていて、新御坂トンネルを抜けて左折し登山口へ向かう。

14:31 三ッ峠登山口Ｐ着。先着車５～６台。丁度下りて来た２人に様子を聞くと雪が解けてグチャグチャとの事。

14:39 三ッ峠登山口Ｐ～電波施設の整備用の広い林道を登る。そこでの仕事帰りの人とすれ違う。この林道をまっすぐ行けば三ッ峠山へ行くと聞き安心。林道が新設されたからか地図では判り辛い。広い林道だが悪路。まだ工事途中らしく所々にキャタピラー車が置いてある。途中四季楽園山荘と三ッ峠山荘との分岐を四季楽園山荘へ直登する。

15:30 四季楽園山荘。休憩料としてテーブル使用料１人 100 円徴収するそうだ。

15:41 三ッ峠山山頂。ＮＨＫの電波塔がある。富士山が大きく間近に見える。

15:43 三ッ峠山山頂～20cm 程の雪で滑りながら下山。足跡は多く結構沢山登っている様だ。出来れば周回したかったが御巣鷹山は時間的に断念。

15:52 四季楽園山荘～「富士の眺望随一」の看板に魅かれて、登り道と変えて分岐を三ッ峠山荘へ向かう。

15:56 三ッ峠山荘。何も遮る物の無い青空に映えて流石に富士山が美しい。近くにある木無山も雪が多く断念し明るい内にと下山を急ぐ。暫く行くと来た道と合流し、後は登山口Ｐへと半ば走り、半ば滑りながら下る。

16:28 登山口Ｐ着。トイレ入口の格子に車の鍵が沢山掛けてある。落とし物だろうか？さぞ困った事だろう。

16:34 登山口Ｐ～太宰治の「富士には月見草がよくにあう」の碑があると言う御坂トンネル入り口にある天下茶屋へ向かう。

16:40 天下茶屋。庇を直していた大工さんに教えて貰い、冬季閉鎖の御坂トンネル横から少し上に有ると言う碑に向かう。２分も歩かない所にあった。ここからの富士山は河口湖を前景に、丁度夕映えしていてとても美しい。暫く眺めていると雲が流れ山頂が見えて来た。

17:30 頃、富士吉田 YH 着。明日は早立ちをして御正体山に登り、毛無山にも回りたいので素泊まりにし、夕食は近くの店で済ませる。

雨の中を苦労して登って来たが、やっと天気が回復し、三つ峠山からの富士山の絶景を楽しむ事が出来た。何よりの褒美だった。

２月号
表紙の写真　表紙の言葉

北八ヶ岳の七つ池

2019.10.5

八ヶ岳は何回か行きましたが、北八ヶ岳は行ったことがありませんでした。
北八ヶ岳は、登山者は少なく南八ヶ岳？とは趣が大きく違うと聞いていましたが、その通りでした。
七ツ池は、それほど大きくない池ですが、紅葉の時期に訪れましたので池に映る紅葉がきれいでした。
池畔のベンチでしばらく景色を見ながら休憩しました。この後、「坪庭」に。
「坪庭」は溶岩の上に低木が、広く植わっていて初めて見る光景でした。１坪程度ではなく、広大な庭園でした。

藤原昭夫（洛中勤労者山岳会）

＜お知らせ＞
「提案　情報　投稿」原稿を募集しています。連載企画の内容でもOKです。
労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。
例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方など会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています。

【投稿先】　京都府勤労者山岳連盟　機関誌委員会　高野　寛
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　hirossan-1954@nifty.com
＊原稿サイズ　B５版　１行約36字　１頁約36行
＊字体　ＭＳ明朝体　１１Ｐ　余白　上、左、右　各２０mm　下　２０mm

2024年　京都府連盟　月間予定表

２月　（如月　・FEB）		
1	木	
2	金	「ヒヤリハット・事故」報告交流会
3	土	大文字山登山道整備
4	日	大文字山登山道整備
5	月	自然保護委員会
6	火	事務局長会議
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	建国記念の日　冬山勉強会・木曽駒ヶ岳
12	月	振替休日　冬山勉強会・木曽駒ヶ岳
13	火	常任理事会
14	水	
15	木	冬山勉強会「コンパニオンレスキュー」
16	金	やまびこ利用日
17	土	
18	日	
19	月	京都労山印刷　ハイキング委員会
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	天皇誕生日　冬山勉強会・経ヶ岳
24	土	冬山勉強会・経ヶ岳
25	日	
26	月	常任理事会
27	火	山の気象勉強会
28	水	女性委員会
29	木	

３月　（弥生　MAR）		
1	金	
2	土	
3	日	京都労山 第59期定期総会
4	月	自然保護委員会
5	火	事務局長会議
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	冬山勉強会・実技：氷ノ山 大文字山登山道整備
10	日	冬山勉強会・実技：氷ノ山 大文字山登山道整備
11	月	常任理事会
12	火	
13	水	
14	木	冬山勉強会・机上：春山の気象
15	金	やまびこ利用日
16	土	
17	日	
18	月	京都労山印刷　ハイキング委員会
19	火	
20	水	春分の日
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	常任理事会
26	火	山の気象勉強会
27	水	女性委員会
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	